

中部経済新聞(7/11)へ下記掲載がございました。

期待の夏2019

6

◆ ◆

プシした。店内はハワイの暑気を感じる、夏のシーズンにおすすめの店だ。初めての夏を迎え、スタッフの士気は高まるばかり。サーフィンでまちおこしを狙う

田原市赤羽根町のサーフスポットにある道の駅「あかばねロコステーション」に今年4月、ハワイアンカフェ「ルルモアナ」がオープンした。

市もにぎわいの目玉と期待を寄せている。

カフェは、外食チェーンのヴィレッジフーズ(本社田原市)が運営する店。店の前には太平洋が広がり、多くのサーファーが憧れるサーフスポット「太平洋ロングビーチ」から歩いて来店できる。

店内はハワイをイメージさせる内装とした。ネームプレートや装飾の置物などは実際にハワイで購入してきた。汚れにくいソファや床タイルを使い、ビーチカバンやサンダル履きのまま気軽に利用できる。利用客は事前準備しなくてもバーベキューを楽しめる。最大60人が利用でき、ルルモアナと集客の相乗効果を狙っている。

ルルモアナ開業から約2カ月半が経過した。同社幹部は「サーファーや釣り愛好家、観光客ら多くのお客様に来店いただいている」と出足は順調のよう

ヴィレッジフーズ ハワイアンカフェ



店内はまるでハワイの雰囲気

田原市で
ハワイ気分味わう

5月末から、同じ道の駅2階でバーベキューを楽しむ「ハワイアンBBQ」を始めた。バーベキューを始めた。食材や食器などを完備。利用客は事前準備しなくてもバーベキューを楽しめる。最大60人が利用でき、ルルモアナと集客の相乗効果を狙っている。

ルルモアナ開業から約2カ月半が経過した。同社幹部は「サーファーや釣り愛好家、観光客ら多くのお客様に来店いただいている」と出足は順調のよう

だ。

田原市は昨年からサーフィンを通じて交流人口や移住者の拡大を目指す「サーフタウン構想」を進めている。ヴィレッジフーズは、同店を人気スポットの一つに育て交流人口拡大にも貢献したい考えだ。

(田原・勝又佑記)